

「令和4年度大学入学者選抜における好事例集（令和5年5月文部科学省高等教育局）」について

事例集作成の目的

- 令和3年7月に取りまとめられた「大学入試のあり方に関する検討会議提言」においては、記述式問題の出題や総合的な英語力の育成・評価、多様な背景を持つ学生の受入れなどについて、他大学の模範となる先導的な取組を推進するため、客観的なデータを踏まえたピアレビュー等に基づき好事例を認定し、公表することが提言されている。
- これを踏まえ、文部科学省において、令和3年10月に「大学入学者選抜における好事例選定委員会」を設置し、高大接続改革や大学入学者選抜方法の改善を一層促進する観点から、令和3年度版の試行的な選定に引き続き、他大学の模範となる好事例を選定し、本事例集を取りまとめた。

https://www.mext.go.jp/content/20230525-mxt_daigakuc02-000005144_001.pdf

好事例の選定方法

- 調査対象は国公立大学・短期大学で、各大学から好事例と考えられる取組について記載いただいた令和4年度大学入学者選抜実態調査の回答をもとに選定委員会において審査を実施し、他大学の参考となり得ると考えられる取組 **17件**を選定した。
- 選定にあたっては、「大学入学者選抜のあり方に関する検討会議提言（R3.7.8文部科学省）」を踏まえ、特に推進が求められている以下を選定の対象項目として設定した。

ア	総合的な英語力の評価・育成	（選定件数：3件）
イ	思考力・判断力・表現力の評価・育成	（選定件数：7件）
ウ	多様な背景を持った学生の受入れへの配慮	（選定件数：4件）
エ	高校との連携をはじめとする高大接続改革の推進	（選定件数：3件）
オ	文理融合の推進やその他の好事例	（選定件数：1件）

※複数の区分で選定されている好事例もあるため、選定件数の合計は17件と一致しない。

「令和4年度大学入学者選抜における好事例集（令和5年5月文部科学省高等教育局）」における好事例について

選定区分ア 総合的な英語力の評価・育成

● 明治大学「学部別入試（英語4技能試験活用方式）」

英語資格・検定試験のスコアを出願資格又は得点加算に活用し、その加点の基準は、総合スコアのみならず4技能毎のスコアも各試験に応じて設定。入学後も将来海外留学や国際ビジネス分野での活躍を目指すためのカリキュラム等の学修機会を提供。

● 中村学園大学「グローバル人材育成選抜」

8つの英語資格・検定試験のいずれかにおける級・スコアを出願要件とし、英語・国語・数学又は社会の3科目の試験により選抜。入学後一定の累積修得単位数及びGPAを満たした者に対し、海外協定校への派遣留学を原則1年間支援。

● 東京都市大学「学際探究入試」

8つの英語資格・検定試験のいずれかにおける一定の級・スコアを出願要件とし、調査書・志望理由書に加え、全て英語による面接で選抜。入学後は、「ひらめき・こと・もの・ひと」プログラム及び国際イノベータ育成オナースプログラムに参加することで入試と入学後の学びを接続。

選定区分イ 思考力・判断力・表現力の評価・育成

● 宮城大学「一般選抜」

一般選抜の個別学力検査で「読解」「情報分析及び活用」「表現」の観点からなる記述式総合問題『論説』を出題。従来の小論文ではカバーできない探究活動で培った力、特に論拠を見出して論理的に思考し、とりまとめる力を評価。

● 信州大学「一般選抜」

大学入学共通テストで測りにくい能力を総合問題で適切に判定。教科の知識を横断する総合的な教養と、論理的で首尾一貫した論述内容を構想し、それを適切に表現する力を測る。

● 東北大学「一般選抜／AO入試Ⅱ期、Ⅲ期」

特任教授（高校教員経験者）及び特定教授（名誉教授）が作題・採点業務支援を実施。高等学校学習指導要領を熟知した高校教員経験者による質の高い作題支援と、シニア教員を活用した試験問題の安定化と現役教員の負担軽減を図る。

● 創価大学「PASCAL入試」

アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた選抜方式により、高校生一人一人の主体性・協働性といった行動特性の能力・資質、思考力・判断力・表現力を評価。受験前に体験会も実施し、入学前に高校生の能力を高める「育成型入試」の一面も持つ。

● 新潟大学「総合型選抜（理系科目／文系科目選択型）」

理系・文系両テーマの講義受講とレポートを全受験者に課し、分野を超えた視野の広い総合的な探究力を評価。入学後の文理融合による課題解決型学修や、第三者企業による全国レベルでの客観的検証も実施。

● 神戸大学『「志」特別選抜』 ※選定区分工においても選定

基礎学力の担保に加え思考力・判断力・表現力を評価する記述式の総合問題など、書類審査から最終選抜を通じて「学力の3要素」を多面的・総合的に評価。入学前3ヶ月での問題演習課題設定及び添削等によりきめ細かく指導し、大学の学びへ橋渡しを行う。

「令和4年度大学入学者選抜における好事例集（令和5年5月文部科学省高等教育局）」における好事例について

● 横浜市立大学「特別公募制学校推薦型選抜」

基礎学力の担保とともに面接を重視した3段階の選抜方式。特に2次面接審査では、各受験者が5つの観点別の面接室を巡るMMI（Multiple Mini Interview）を実施し、評価のプレを抑えつつ多様な資質を評価。

選定区分ウ 多様な背景を持った学生の受入れへの配慮

● 青山学院大学「全国児童養護施設選抜」

スクール・モットー「地の塩、世の光」に基づき、児童養護施設入所者を対象に限定した選抜。入学後の学費、諸会費等の免除や奨学金の給付など、手厚い支援制度で在学中の学びの環境を整える。

● 東京女子大学「知のかけはし入学試験」

経済的理由により進学が困難な女子生徒に対して、多面的・総合的評価を行う総合型選抜に奨学金制度を付け、年内に進路を決定。学納金相当額（入学金・授業料・教育充実費）及び寮費相当額（該当者のみ）を卒業までの4年間にわたって給付。

● 芝浦工業大学「公募制推薦入学者選抜（女子）」

女子学生獲得のために理工学分野に強い関心と意欲をもつ女子生徒を基礎学力テストや面接で評価し、入学金相当の奨学金給付制度とセットで実施。理工学分野での女性の活躍を支援する全学体制を確立。

● 熊本県立大学「特別選抜“くまもと夢実現”学校推薦型選抜」

熊本県内の生活保護世帯に属する生徒を対象とし、入学者選抜手数料、入学金及び4年間の授業料を免除。県民に広く高等教育機会を提供するという理念の下、経済的事情から大学進学を断念せざるを得ない進学希望者の夢を実現。

選定区分エ 高校との連携をはじめとする高大接続改革の推進

● 工学院大学「探究成果活用型」

協定校と共催する探究シンポジウム（合同発表会・交流会等）を通じて、高校生が日頃取り組んでいる探究活動の発表・交流の場を構築。高校生の探究成果をアーカイブする探究データベースの構築など、大学の得意分野を活かした高大接続の取組を推進。

● 産業能率大学「キャリア教育接続方式」

3日間のキャリア教育プログラムと連動した、自己のキャリア構想に基づく課題解決プランのプレゼンテーション及び面接により選抜。総合的な探究の時間等による高校での多様な学びをキャリア構想に発展させ評価し、入試を通じて高校生自身の成長も促す。

選定区分オ 文理融合の推進やその他の好事例

● 青山学院大学「社会情報学部入試（個別学部日程D方式）」

社会科学・人間科学・情報科学分野の教員構成となっている、文理融合系学部の特徴を活かした多様な視点での考察を測る独自問題（総合問題）を出題。入学後に文理融合の複数領域を学ぶ資質を評価できる入試を実現し、入学後のミスマッチを防ぐ。